

水産物の市況について(平成30年8月及び9月)

—東京都中央卸売市場における平成30年8月(平成30年7月21日～平成30年8月20日集計)の市況と、
平成30年9月の市況見通し(前月との比較)—

I 平成30年8月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は前月と比べ減少し、卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は前月と比べやや強含みに推移しました。

II 平成30年9月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

道東～三陸で水揚げが続くものの小型魚主体の漁獲で大型魚は少ないことから、入荷量は今月並みに少なく横ばい、卸売価格は高値・横ばいと見込まれます。

「さけ・ます(塩蔵品・冷凍品)」

入荷量は新物の秋サケが出回るものの、輸入物の供給が少なく、全体として今月並みの低水準と見込まれ、卸売価格はやや強含むと見込まれます。

「さば(生鮮品)」

入荷量は三陸の水揚げが本格化することから増加が見込まれ、卸売価格はやや弱含みと見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

入荷量は水揚げが低調で生鮮・冷凍とも横ばいと見込まれ、卸売価格は生鮮・冷凍とも高値・横ばいに推移すると見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

入荷量は盛漁期を過ぎたことから今月並みと見込まれ、卸売価格は横ばいと見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

入荷量は、冷凍物全般にやや減少すると見込まれ、卸売価格はクロマグロとキハダマグロとメバチマグロは横ばい、ミナミマグロは生鮮物が潤沢なことから弱含むと見込まれます。

「かつお(生鮮品)」

入荷量はやや減少すると見込まれ、卸売価格はやや強含むと見込まれます。

「さんま(生鮮品)」

入荷量は盛漁期に入ることから大幅に増加し、卸売価格はかなり弱含むと見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	並み、横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	8月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
30年	29	1,128	33	1,086	30	1,099
前年	31	1,124	36	1,047	35	1,033

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2:入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主要品目の価格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	8月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	631	130	166	125
さけ・ます(平均)	1,090	103	107	125
(ぎんざけ塩蔵品)	1,099	104	107	129
(あきさけ塩蔵品)	781	108	82	99
(ときさけ塩蔵品)	1,291	106	122	142
(べにざけ塩蔵品)	1,464	107	134	137
(さけ類冷凍品)	999	100	100	119
さば(生鮮品)	332	91	72	74
するめいか(平均)	825	132	110	150
(生鮮品)	798	135	112	142
(冷凍品)	939	107	100	182
あじ(生鮮品)	524	101	84	81
まぐろ(冷凍品)	1,437	98	87	100
(めばち冷凍品)	1,009	101	79	99
(きはだ冷凍品)	1,038	106	92	106
(くろまぐろ冷凍品)	3,108	101	94	85
(みなみまぐろ冷凍品)	1,711	82	80	81
かつお(生鮮品)	494	123	93	78
さんま(生鮮品)	1,016	127	125	126

注1:品目により、市場で主流となる形態が異なることから、市況を把握する指標としてもっとも適当な形態についての価格データを掲載している。

注2:8月の価格は1~20日までの速報値を元に算出。平年とは平成25年~29年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ及びアトランティックサーモンが含まれる。

注4:さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6617 北川、山崎、小山

直通 03-3591-5612